J. M. BORKING (21才)　(22ヲン 8/5-44)　23ﾊﾝ8/K

23

フローレス（起訴外）

(11) 貴下に昨朝以、味人の後り Flores 島ニテ死後ノ採判ヲセシヤリヤ？
「然り。」
(12) Flores ヘ送ル前ニ於テ、ナニカ、ナナニ日本人ヨリ伝ワリ検査ヲ受ケタリヤ？
「然り。」
(13) 此ノ点ニ付キ何カ記憶アリヤ？
「若シ予ノ記憶ニ間違イガナケレバ「伊号」トスル。」
(14) 若シ此「伊号」ヨリ、諸案ノ提示サレタルニ、彼ノ証判ヲ得ルヤ？
「然り。」
(検閲官、証人ニ示ス「伊勢志」2440-L.T. 昭和17年, 12-2-'42 カノ注記ノ部分ヲ提示セラルル所ノ本証人ニハ之ヲ知リ得ベシ)
「此ノ人物ニ対スル検査ニ、時ニ注記ヲナセルヲ記憶ス。其ヨリ「伊勢志号」ト言ヒ得ルガ。然シ一言附言シタキハ「伊号」ノ実際ニ於ケル名ヲ知ラザリシガ為ニ、ソノ名ヲ知ラントシテ、ソノ様ニ書キタルモノナリ。」
(15) 如何ニシテ Flores 島ヘ連レ行カレ又ドンナ方法デ検査ヲ受ケタルヤヲ詳細述ベヨ。
「15-4-44 朝、家ニ一名ノ巡査ガ「貴娘ハ16-4-44 = Badjoeng ノ警察本署ヘ出頭セザルベカラズ」ト印刷シタル紙ヲ持参ス。然ルニ、ソノ名ヲ書ケル者ハ、ソノ場ニ居ラズ、ソノ場ニ居タ「警官隊」ノ名ヲ書キ込ムヤウ命ゼラレ来リシモノデアル。ソノ場ニ紙ヲ置イテ行ッテ了ッタ。(注)
16-4-44、警察ヘ行ッタガ、ソコデハ50-100名程ノ娘ガ来テヰタ。ソシテ人ニ昔ヲ出サレタ訳デハナカッタ。或人ハレストランデ御行オトツカラ連行サレ又或人ハ行ノ方行オトコロヲ聞イテヰタ。
警察本署デ一名ノ日本人通訳ガ我々ニ訓辞ヲ行ッタ。ソノ間ニ多数ノ日本人ガ病気ニ罹ッテヰテ、ソノ娘ガ之ノ日本人ヨリ伝ワッテ検査サレルヲ知ッテヰタ。又中ニ病気ニ罹ッテヰル娘ニ薬ヲ与ヘ、健康(注病)ナ者ハ帰宅サレルトイフ。
ソレカラ我々ニ専用車(私有)デ Genielaan, Splendid 街ヘ連レテ行カレタガ、此所ニハ日本人夫婦トソノ他数名ノ、味人ガ居タ。
我々ハ各々一室ニ引キ入レラレ一名ヅツ一室ニ部屋ニ入ル。私ノ番号ハ「130番」デアッタ。検査ヲサレテヰル娘ノ泣ク声ヤ叫ブ声ガ聞エタ。私ノ部屋ハ入口ガ非常ニ堅固ニ出来テヰル。ソシテ窓ニモ、ガラス戸ガ有リ入口ガ行ク。ソノ部屋ニ入ルト「止木サン」ノ「ヘルマン」ト「ノザキ」(注)ガ私ノ名ヲ呼ビ、ソノ後ニ日本人ノ夫婦ガ入ッタ。私ガ送ラレ下Flores島カラ来タモノデアリ、又日本ニ於ケル私ノ職業ヲ聞イテ後接ノ用係デアッタ名医デアッタカラデアル。

[illegible] 船の客室が狭い為、[illegible] 甲板に寝る。ソノ之が十分カ過ぎルト暑い様に感ずる。狭い船室の中に四人が大腰掛の様な[illegible]寝ル。従テ狭い室ニ入ル人数ノ[illegible]船室の多スニ[illegible]船賃の差ガ出ル。

ソノ船ハ Splendid ト云フ二階建ノ船ニテ、乗組員ハ50名ヨリナルソウデ。ソノ内ニ我々20名ノ[illegible]ル、日本人ヲ連レテ駅ヘ行キ、[illegible]ヘ連レ行ク。

[illegible]ヘ連レタ娘ノ中ニ[illegible]ル人ニ[illegible]

1. Deetje BONIZET,
2. Lissy SAYERS
3. Vonny de FETES.
4. Vera HODGKAM,
5. Annie GOEDVOLK
6. Emmy HULSTHOF.
7. Paula van KEMPEN
8. Jeane HEYNE
9. MARSINAH. —— 以上ヨリ判ル。
10. PANTES (ラバウル)
11. WITRI (ベロンガン)

ソノ他ヲ[illegible]ル人、娘ガ[illegible]ル[illegible]名ヲ[illegible]ニ出セナイ。

[illegible]ヘ我々ハ Ketoepasstraat, 「トドサン」トイフ日本人ノ家ヘ連レテ此ノ[illegible]ヲ一ケ月預ル。[illegible]名ガ一組ニ一室ヲ入レラレ、食事、[illegible]ル。化粧品ヤ金即ち[illegible]ガ Flores ノ様ナ日本人[illegible]ガ[illegible]ノデ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ

私に来る時も出血していたので拘らず当時、軍トラック"佐々木"という日本人に私の
生命の捧げなければならなかった。此の"佐々木"将校が"犬"に似ていたので
非常に親切であった。此の時、四回目の検査を私に彼に何回も同意した。
兵隊達がやって来て私が"佐々木"の使いに来たと大声でどなった。彼女を私の
使いであった。憲兵隊が差別待遇にしないで命令が出ていたので私の検査
番の引き延ばしをやめさせた。或時に順番を待つ日本人の列が7名になったと
きである。此の私に次いで平の使いである。之の若干後私の番が来る。
憲兵所に入ると日本人の現在係、トラックが各人一指本ずつ切符を置いてあった。
此の切符に私に次ぐ残り憲兵婦人毎週提出する"トビサン"所に提出する。
此の私に最大切符100枚を出すがと云われ断わられる。又此の時
厳命された。然し私の「軍トラック佐々木に私を引き渡せ」の強硬策の為
であった。即ち私が妊娠、苦しみ出した時に彼に金を持って来て切符を買って貰った。
此の様にして毎日私に女が苦しみ出すまで待った。即ち過ぎた元年切符を出すが様な。
次年9月の12月迄に私に此の平の使いである。
此の佐々木私の、トラックに来る時に使う予防具の使用をすかさず此の為私に不
姙娠させた。之等に接する程に彼佐々木に懇願して私の請け出し。
私に佐々木に永く此の家の手へ入れ、此年4月迄此の同棲であった。
此の私の姪娘に永く逢って来る時「トビサン」連れて朝鮮ピョンヤンへ逃げます。
此の風にある一夜泊りの旅に又出掛ける。此旅行が「トビサン」が酷く
日に連れ出す。私姪娘五十月下旬に「トビサン」私に性交を迫る。
私に着くとの様である。此に私に彼が暴力を使うと思いだ。「仁人船長」100個の
まくら何かを詰めて膨らませた。彼「トビサン」の為に胡魔化す。
風がナイトをつけ船を Flores に泊めた。私に直ぐ佐々木許に行き「トビサン」
が事有り様を話すと云った。
佐々木に直ぐ憲兵に電話をかけ。「トビサン」に船から逃げるなと飛行機で
ピョンヤンへ連れ戻す。「トビサン」代りに「ナサリ」と「SYAH」という人引き渡がある
ようだ。Jean HEYNE と同行した。彼女に酷く殴られ蹴られた。
一月、航海1枚我に18-5-45ラバウルに着き、二日後にラバウルより帰った。
3-9-45に子供が生れる。

(1) 伊藤より1枚ピョンヤンの手紙にて見かけられる
(2) 1人 若干の従業者の呼び名
(3) 時々私に立ち寄る憲兵隊長の名前
(4) 私に性行為を強いた人
(5) 私に Lissy Sayen と名乗る伊人に会ったと言った